

始動検出方式の切替（つづき）

ステップ 3

30秒以内に次の操作を行います。

エンジンスターター本体から断続音「ブピッ ブピッ…」開始から30秒以上経過してしまった場合は、エンジンスターター本体から「ブーピー」という音がして、始動検出方式が通常モードに設定されます。

(1)特殊モードに設定する場合

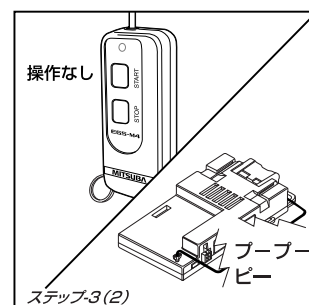
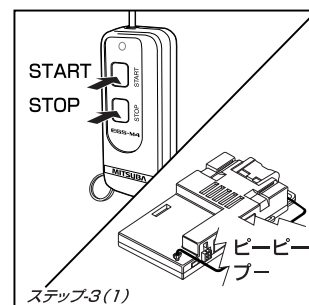
リモコンのSTARTスイッチとSTOPスイッチを同時に押します。

エンジンスターター本体から「ピーピーブー」という音がして、特殊モードが設定されたことを知らせ、鳴り止みます。

(2)通常モードに設定する場合

30秒間そのまま放置します。

エンジンスターター本体から「ブーピー」という音がして、通常モードが設定されたことを知らせ、鳴り止みます。



ステップ 4

キーをOFFにします。

以上で始動検出方式の切替は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。

メモ 車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス（アース線）を外した場合には、再度設定する必要があります。

キー始動学習機能の設定

次のような場合には、キー始動学習機能を設定して下さい。

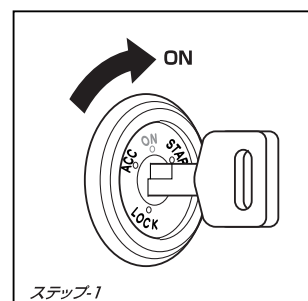
- リモコン始動時にABS警告灯が点灯したままになってしまう。
- スターターモーター駆動時間が短かすぎてエンジンがかかりにくい。

注意 始動検出方法を特殊モードに設定している場合は、スターターモーターの駆動時間を学習することは出来ません。

ステップ 1

キーをONの位置にします。

メモ このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。以降の操作が出来ません。

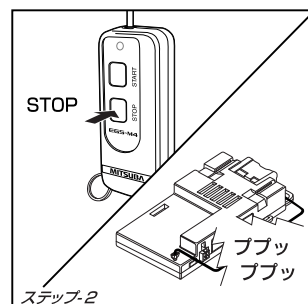


ステップ 2

10秒以内にリモコンのSTOPスイッチを押します。

エンジンスターター本体から断続音「ブッ ブッ…」の2連音が鳴ります。

メモ 10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。



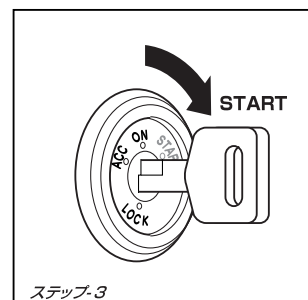
ステップ 3

30秒以内にキー操作でエンジンを始動します。

エンジンスターター本体から「ブブブブー」と音が鳴りキー始動学習が行われたことを知らせ、鳴り止みます。このときにスターターモーター駆動時間を「0.8～3秒」の範囲で学習し、以降リモコン始動時のスターターモーター駆動時間になります。

よって、通常使用時と同一環境下で学習操作を行うと効果的です。

30秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。エンジンスターター本体から「ピーピー」という音がして、グロー時間が3秒に設定されますのでご注意ください。設定をやり直す場合はキーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。詳しくは、18ページの「グロー時間の切替」を参照して下さい。



ステップ 4

キーをOFFにします。

以上でキー始動学習機能の設定は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。

メモ 車のバッテリーを外したり車種別専用ハーネス（アース線）を外した場合には、再度設定する必要があります。